



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



Company Profile

一般社団法人日本サステナブル投資研究所
Japan Sustainable Investment Laboratory

改訂版 令和2年7月



ごあいさつ

一般的に地球温暖化は異常気象の頻度を変える可能性があることが知られています。今は新型コロナウイルスによって全世界が危機感を感じております。しかしながらこの様な時代だからこそ、初心に還り改めて何が世の中にとって必要なのかを見つめる時期であろうと考えられます。ビジネスなのか、環境なのか、医療支援なのか。私たち一般社団法人日本サステナブル投資研究所は、M&Aにより企業価値を高める専門家と、再生可能エネルギーの専門家、地方創生に長けた専門家が研究員として集まり、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を実現するため、環境保護や社会問題解決のためのサステナブルな投資について研究し投資家と企業のエンゲージメント及びESGインテグレーションをより潤滑にできる活動を行う事を目指し2015年に任意団体として活動を開始しました。

きっかけは「伝説のスピーチ」で知られるカナダの環境活動家であるセヴァン・カリス＝スズキ (1979年11月30日) 女史が2014年に来日された際のYouTubeを見たことが始まりでした。何度も国連主催のセミナーなどに参加している中で、環境保護には新しい技術や膨大な資金が必要であるという点から「投資」というネーミングを盛り込みました。私たちは当研究所を通じて持続可能な社会システムを構築できるように新しい側面から社会貢献に努める所存です、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和2年7月吉日 代表理事 戸澤 崇光

SDGsとESG投資の関係性

既に世界規模では約9,000兆円へと発展しているESG投資は、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の略であり、企業の長期的な成長のためには、ESGが示す三つの観点が必要だという考え方で普及しております。一方、ESGの観点が薄い企業は、大きなリスクを抱えた企業であり、長期的な成長ができない企業だということを意味しています。

また以下の図の様に、SDGsとESG投資の関係性は「**社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む**」という考え方によりその関係性は深く既に国策となっています。



概要

法人名	一般社団法人日本サステナブル投資研究所	創業	2015年12月17日
代表理事	戸澤崇光 (元野村アセットマネジメント他)	設立	2017年7月31日 (一般社団法人化)
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布3丁目20番1号Daiwa麻布テラス5階	従業員数	3名
		事業内容	持続可能な開発目標に関する調査・研究・情報発信
理事	5名 (令和2年1月1日現在) 別紙参照	URL	http://jsil.asia
電話	03-5793-3722 FAX 03-5793-3723	メール	info@jsil.asia

事業内容

以下の事業を主に行っております。

- 上場企業様に対する各種ESGファイナンス (第三者割当増資及びグリーンボンド等) のアレンジメント
- 国内及び海外に通じる持続可能なサイバーセキュリティ及びブロックチェーン技術に対する投資及び支援
- 小水力発電所の地方自治体への発電事業推進及びインベスターのファインディング
- 蓄電池等の新技術及びそれに関わる投資促進及び投資家のアレンジメント
- 再生可能エネルギーに関わる新技術に対する投資及び関連企業のM&A支援
- バイオマス発電及びバイオマスガス化発電に関連する新事業化支援及び関連設備の紹介支援

当研究所のSDGs 再生可能エネルギー分野においてSDGsの左記4項目に最も力を入れております。

- 6** 安全な水とトイレを世界中に
- 7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 9** 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 13** 気候変動に具体的な対策を

沿革

2020年2月	サイバーセキュリティ研究部会 発足
2020年1月	本店所在地を東京都港区南麻布に移転
2019年12月	再生可能エネルギー小水力発電研究部会 発足
2018年1月	再生可能エネルギー関連技術研究部会 発足
2017年7月	一般社団法人化及び第1回JSIL社員総会
2015年12月	セヴァン・カリス＝スズキ女史が2014年に来日された際のYouTubeに影響を受けて任意団体設立